

研究課題名	非専門医科の肝炎ウイルス検査陽性者の肝臓専門医科への受診、受療の実態調査
研究の意義・目的	<p>本研究は、当院の非肝臓専門医科で施行した肝炎ウイルス検査での陽性者を対象に、その臨床情報や専門医科への紹介の有無や紹介後の治療の有無を解析することで、専門医科へ紹介しない原因を明らかにするとともに、陽性者の認識度（肝臓専門医科への受診歴、治療歴）や紹介率の標準指標を設定することを目的とします。</p> <p>本研究では、受診勧奨システム導入後の専門医科の受診状況、陽性者のうち治療目的で専門医科に紹介が必要な患者の実情を調査することで、治療の進歩により肝炎ウイルスがコントロール可能となった現状における非専門医科の陽性者の実態を把握できる可能性があります。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2027 年 12 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2019 年 1 月～2023 年 12 月に大阪公立大学医学部附属病院の非肝臓専門医科で HBs 抗原検査または HCV 抗体検査を受け、陽性と診断された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報：年齢、性別、診断名、診療科名、陽性者の認識度、専門診療科への受診状況や紹介例での抗ウイルス治療の状況、肝臓専門医へ紹介されなかった理由</p>
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科・肝胆膵病態内科学のみで行います。</p> <p>【研究責任者】大阪公立大学大学院医学研究科・肝胆膵病態内科学 小塚立蔵</p>
本研究の 利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪公立大学医学部附属病院 肝胆膵内科</p> <p>担当者氏名：小塚 立蔵</p> <p>電話番号：(06) 6645-3905</p> <p>メールアドレス：rkozuka@omu.ac.jp</p>